

# JSPS Information

◇移行登録のお願い

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会 第18回総会議事録

◇日本惑星科学会 第45回運営委員会議事録

## ◇移行登録のお願い

日本惑星科学会 会員各位

総務専門委員長 荒川 政彦

本会におきましては、2002年度より事務局を電子化し、会員の皆様へのサービスは電子メール及びホームページ (<http://www.wakusei.jp>) を通じて行なっております。

このサービスを間違いなく皆様にお届けするため、事務局では会員の皆様に移行登録をして頂くよう機会がある度をお願いしております。移行登録とは、皆様の個人データを最新のものにリフレッシュして頂き、そして会員サービスを受けるためのパスワードを設定していただくものです。このパスワードを取得することにより、学会員名簿の閲覧を始めとする各種サービスを利用することが可能となります。

また、このパスワードは学会役員等を選ぶための電子選挙や監事の信任投票、総会委任状を発行するためにも必要とされます。現在まで学会員の約7割の方が移行登録を完了しておりますが、事務局においては100%の移行登録を目指して、さらに皆様をお願いしている次第です。

移行登録の方法は、下記の通りですので移行登録の済んでいない方はご一瞥下さい。

### 用意しておくこと

・パスワード

6文字以上のASCII文字、今後の個人情報更新や情報閲覧等に必須となります

・秘密の質問とその答え

パスワードを忘れたときの認証に使用します

・電子メールアドレス

会員間で公開可能なものであること、会員一覧で表示されます

・惑星科学会の旧会員番号

昔の冊子配布の会員名簿もしくは昔の振込用紙(控え)等にかかれた507-xxx-xxxxという形式の番号のことです

・所属等の連絡先住所情報

### 方法

URL <http://www.wakusei.jp/> から登録(鍵のマーク)へ進む

移行登録の「移行登録」をクリック

なお、移行得登録システムで必須となっている旧会員番号の入力において必要なのは頭の507だけです。したがって、旧会員番号のわからない人は507-000-0000と入力して頂けばOKです。

以上、会員各位のご協力をお願いいたします。

## ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2002年12月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

宇宙開発事業団

カメカインスツルメンツ(株)

(株)日立製作所放送・通信システム推進本部

(財)リモート・センシング技術センター

## ◇日本惑星科学会 第18回総会議事録

2002年10月3日(木)15:30-16:30

日本惑星科学会秋季講演会 会場

岩手県水沢市文化会館(Zホール)

出席者:51人

委任状提出者:49人

会員数:539人

Q:この予算額は何%くらいの方が会費を払っていることに相当するのか?

A:(榎森)各年度の未納者数は以下の通りである。

	2000	2001	2002
正会員426人:	9	25	83
学生113人:	12	27	50

## 議事次第

## 1. 開会宣言

荒川総務専門委員長より開会が宣言された。

## 2. 議長団選出

出席会員からの推薦により、議長に安部委員、書記に門野会員が選出された。

## 3. 議事

## ■3-1.第6期下期収支の中間報告(榎森財務専門委員)

収入は平年通り、また支出はほぼ計画通りとなっていることが報告された。

<質疑>

<採決>

過半数の賛成により承認された(出席者数56人)。

## ■3-2.優秀賞の実施提案(並木委員)

来年度秋の学会から、あらたに優秀発表賞を設けることが提案され、その内容が説明された。口頭・ポスター発表で毎年1~2名とする。副賞として賞金を与え、その資金は特別会計からとする。選考委員は4名(検討中)。賞は2種類とし、それぞれ学生を対象とした学生賞、若手研究者を対象とした若手賞(名称、詳細は検討中)としたい。学生賞は、まだ博士号をとっていない学生会員(会費滞納者除く)を対象とする。

<質疑><採決>は3-3.の後まとめて行うこととした。

## ■3-3.特別会計設置案(榎森財務専門委員)

寄付を財源として平成15年度より特別会計を設ける。

名称は「優秀発表賞特別会計」とし、財源は100万円の寄付を一般会計から特別会計へ移算することにより確保する。

#### <質疑>

Q: 来年度の設置と言うことは、今年度の会計のどこに?

A: (榎森財務専門委員) 入っていない。100万円を特別会計として別枠とする。

Q: 移算しないではじめから特別会計にしたほうが良いのでは?

A: (榎森財務専門委員) そう思う。

Q: 賞金額は?

A: (並木委員) 学生賞は年20万円(2人の場合は一人10万), 若手賞はなしとする。

Q: この話は検討中なのか?

A: (並木委員) 異論があれば検討する。

Q: (1) 学生賞にだけ賞金を出すことの本旨は?  
(2) 100万円を使い切った後(6年後)からはどうするのか?

A: (並木委員) (1) 学生の人にいい発表, いい研究をしてもらうためである。限定はしないが, そのお金を国際学会参加などに使ってもらえれば良いと思う。

(榎森財務専門委員) (1) 寄付者が若手の育成に使うことを希望している。(2) 会費納入促進の努力により一般会計から出せるようになることを期待している。

Q: 選考委員の公表は?

A: (並木委員) 未定である。

Q: (1) 検討のスケジュール(2) 意見の吸い上げ方  
(3) 「若手」の資格についての議論を要望する(年齢, 博士号取得後何年, 等)。

A: (並木委員) (1) 12月までに詳細を決める予定である。(2) ワーキンググループから運営委員会へ原案を提出し, 議論頂いている。要望があれば運営委員に直接言ってもらうことも可能で

ある。

Q: 特別会計にした理由は何か?

A: (榎森財務専門委員) 寄付者に明確に用途を説明しやすいからである。

Q: 案を公開してみても?

A: (並木委員) OK。

Q: 受賞者に記念講演などを全員に対して行ってもらうては?

A: (並木委員) 授賞式は行う。

コメント: 惑星科学会ではセッションが並行していないので, その人の講演はみんな聴いているはずで, 記念講演は必要ないのでは?

コメント: やはり講演してもらうのがよい。

コメント: 賞金のつかいみちを述べてもらう。

A: (並木委員) 検討する。

Q: 受賞者の発表はいつ?

A: (並木委員) 翌年の春の学会で行う予定。

Q: 確認だが, 秋の講演に対しいつ審査結果を発表するのか?

A: (並木委員) 秋に審査, 春に発表。

コメント: その時(秋)に発表した方がよいのでは?

#### <採決>

過半数の賛成により承認された(出席者数54人)

#### ■3-4. 第7期上期予算編成・執行方針(榎森財務専門委員)

一般会計・特別会計予算ガイドラインについて説明がなされた。

#### <質疑>

なし

#### <採決>

過半数の賛成により承認された(出席者数54人)。

## 4. 報告事項

#### ■4-1.第7期役員選挙について(荒川総務専門委員長)

役員選挙のスケジュールについて説明があった。

##### <質疑>

Q:電子移行登録していない人は選挙権放棄することになっていることは決議されたのか?

A:(荒川総務専門委員長)すでにされている。

#### ■4-2.電子投票について(林副会長)

投票のやり方について説明が行われた。

##### <質疑>

Q:二重投票は不可能か?

A:(林副会長)不可能である。

Q:暗証番号を忘れた場合はどうするのか?

A:(林副会長)会員番号を忘れた場合は選挙のメールに書いてある。秘密の暗号を忘れた場合は、事務局に直接聞く方法しかないが、どうするかは今後検討する。

Q:誰が誰に投票したかわかるのではないか?

A:(林副会長)システム管理者にはわかるが、一般常識として管理者はのぞき見はしない。

Q:次の可能性は?(1)白紙投票(2)運営委員の投票を定員以下でやめる(3)投票後変更したい時。

A:(林副会長)(1)(2)会長は不可能。運営委員は最低一人書かなくてはならないが、定員以下で

やめることは可能。(3)不可能。

Q:移行登録をしていない4割をほっておいて、はじめから6割だけで選挙をやっているのか?

A:(林副会長)決議したことである。

Q:残り4割の人に対して、紙などによる対処は?

A:(榎森財務委員)財政的に無理。

Q:これまでの投票率は?

A:(荒川総務専門委員長)100名くらい。

Q:未移行者を公表しては?

A:(林副会長)運営委員はわかるので彼らの努力に期待。OMLに流すことは可能。

Q:未移行で、旧会員番号を忘れた場合は?

A:(林副会長)名簿に書いてある。または近くの移行済の人に検索してもらう。

#### ■4-3.2003年秋季講演会について(春山行事部会長, 南会員)

日時:10月8日(水)~10日(金)

会場:大阪市大杉本キャンパス

#### ■4-4.その他

2003年度合同学会について(倉本委員)

日時:5月26日(月)~29日(木)

会場:幕張メッセ

## 5. 閉会宣言

### ◇日本惑星科学会第45回運営委員会議事録

日本惑星科学会第45回運営委員会議事録

日時:10月2日(水)19:00-22:00

場所:秋季講演会会場Zホール内会議室

運営委員(出席者):

水谷 仁, 倉本 圭, 香内 晃, 中村昭子,

林 祥介, 向井 正, 渡邊誠一郎, 荒川政彦,

安部正真, 渡部潤一, 並木則行, 井田 茂,

春山純一, 佐々木晶, 阿部 豊, 山本哲生, 田近英一

(欠席者)委任状あり:

寺藺淳也, 藤原 顕, 福岡孝昭, 大谷栄治,

渡部重十, 中澤 清

オブザーバー出席:

榎森, 南, 荒木 各会員

## 議題

### ■1.第6期下期中間報告

榎森財務専門委員から表記に関する報告と内容に関する説明があった。支出の中でイーサイド管理費が予算額を較べて低いのは、年度途中なので支出途中であるからとの説明があった。林副会長よりイーサイド事務局から本運営委員に対する要望の説明があった。イーサイド事務局からsteeringに流された質問に関しては必ず担当者が対応するようとの注意があった。その際、内容に従って仕事を割り振り、対応マニュアルが作れるようにし、できるだけイーサイド側が名指しで依頼ができるような体制にすることが確認された。

### ■2.第7期下期上期予算ガイドライン

榎森財務専門委員から表記に関する報告と内容に関する説明があった。現在、毎年20万円程度繰越金をとりくずしている状況にあるので、あいかわらず学会の財政は厳しいとの説明があった。年末にはイーサイドとの契約更改があるが、できるだけ事務委託費の上昇を抑えるよう各委員から要請があった。本会になされた寄付金(100万円)は特別会計にまわし、来年度から学会賞の賞金として利用されることが承認された。賞金の財源は一般会計を通さず直接特別会計に入れることができるようにした方が良いという指摘があった。3年間会費未納者リストが提示され、特に正会員(一般)に関しては担当を決めて納入をお願いすることが確認された。また学生会員会費滞納数ワースト5が紹介された。東大、宇宙研、大阪大、北大、名大は特に数が多いので指導教官が学生に会費納入を促すよう要請があった。

### ■3.2003年秋季講演会

春山行事部会長から2003年度の秋季講演会は大阪市立大学で行うとの説明があった。LOC実行委員長

である南会員から講演会の予算案が提示された。開催時期は、2003年10月8日～10日と決定した。開催場所は、大阪市立大学学術情報交流センターである。開催時期が他学会と重なるのを防ぐため現在までに開催時期が決まっている関連学会の日程を調査、照会した。開催日程については、すぐに同報メールで会員に回覧することになった。

### ■4.欧文誌専門委員会から

中村欧文誌専門委員長からEPS運営委員会の議事が説明された。学会補助金の見直しに際して、惑星科学会はEPSに対して補助金を拠出していないのでなんらかの対応が迫られると説明があった。今のところ2名の惑星科学会選出EPS運営委員の旅費負担が期待されている。この負担金に関しては運営委員会です承された。またEPS発行事務経費削減案の一部として各学会でEPS購読者を把握し、学会内でEPS購読料を徴収するという案が挙がっている。これに対する本会の対応は、現財務システムの再構築も含めて最大限の協力をするという事で合意が得られた。また、EPS特集号に課せられている「ある程度外国の著者が含まねばならない」という規則に関する議論がなされた。本会の立場としては、国際的に評価されている論文であれば、特集号においても必ずしも国籍は問わないという事で合意が得られた。

### ■5.学生会員の定義についての会則改定案

榎森財務専門委員から表記の件に関する提案がなされた。学生会費5,000円を適用する対象として、「就職していないこと」と「授業料、入学金等を納入して学籍(学生・研究生)を取得していること」との二つの条件を満たす正会員とすることを決めた。上記の学生会費適用の会則への記述に関連して、荒川委員より現会則第2章第6条に「学生会員は年額5,000円とする」なる記述があるが、会員の区分は正会員と賛助会員であり学生会員という呼称が会則上に挙げられているのは不適切ではないか、との指摘があった。以

上のことより、榎森財務専門委員に上記の学生会費適用対象を明確に表し、且つ記述に学生会員なる文言を含まない、会則改定案の原案作成を依頼した。

#### ■6.退会処理の検討

榎森財務専門委員から表記の件に関する説明があった。議論の結果、退会申請は現状通りE-mailでの受け付ける旨、合意がなされた。提案された総務専門委員からの退会意志確認等に関しては、その主な目的が退会希望者への慰留であることから特に規則化はせず、各運営委員に退会者に対する対応を逐次お願いすることを確認した。

#### ■7.研究会設置にともなう会則改定

先の運営委員会から持ち越しになっていた表記議題に関して倉本委員から原案が提示された。会則第4章第14条に第5項「研究会」を設けることとした。原案は了承され、次回(来春)の総会で会則改定案として提案されることになった。しかしながら、すでに設置された金星フォーラムや今後必要とされる研究会は、先取りしてこの案に沿って運営されることが了承された。

#### ■8.第7期役員選挙のための選挙管理委員会の設置

荒川総務専門委員長から役員選挙のための選挙管理委員会の設置案が出された。選挙管理委員会は原案通り了承された。今後の選挙日程が説明され、原案通り了承された。今回の選挙はすべて電子投票で行うため、投票権を執行するには会員の移行登録が必須である。現在までの移行登録率は60%に満たないのでさらなる呼びかけが必要であるとの警告がなされた。

#### ■9.議長団候補者推薦

議長として安部委員、書記として門野会員が推薦された。

#### ■10.学会賞の創設について

並木委員から、表記議題についてワーキンググループからの原案が提示された。議論の後、以下のことに合意が得られた。学会賞は、学生を対象にしたものと、若手(例えば35才以下)を対象としたものの2種類とする。特別会計から拠出する賞金は学生対象の賞のみとする。若手の賞に関しては別途ワーキンググループで原案を作成し、来春の運営委員会で議論する。学生対象の賞は、今回の原案を一部変更する形でこの総会で会員に紹介し、そこで意見を集約し来春最終案を提案する。学生賞の原案に関する申し合わせ、修正等は以下の通りである。受賞者は主著者(発表者)に限る。受賞者数はさらに検討が必要。選考委員は公表した方がよい。選考委員の数が4名では少ない。任期1年は短い。審査はあくまでも研究内容重視である。

## 報告

### 1.2003年度合同大会について

倉本学会連合等部会長から次期合同大会について説明があった。期間は2003年5/26-5/29、会場は幕張メッセである。惑星科学会推薦のプログラム委員は並木委員、はしもと会員である。スペシャルセッションの提案締め切りは10月末であるので注意するようにとのことであった。